

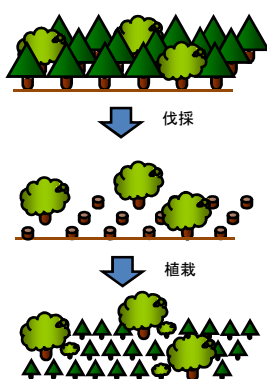
Ⅱ 業務内容

1 公益的機能の一層の発揮

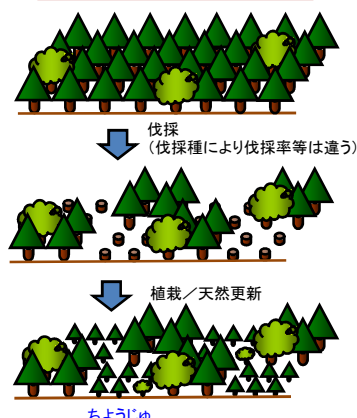
(1) 多様な森林への誘導

森林における生物多様性の保全など、森林の持つ公益的機能の一層の発揮を図るため、様々な生育段階や樹種で構成される針広混交林や、林齢や樹種の異なる小規模な林分がモザイク状に配置された面的複層林など、多様な森林へ誘導する施業を推進します。また、山地災害が激甚化・多様化していることを踏まえ、適切な伐採方法の選択など、林地保全に配慮した森林施業を推進します。

針広混交林への誘導イメージ



面的複層林への誘導イメージ



林内又は周辺に高木性広葉樹や天然生稚幼樹がある場合には、伐採時に保残し育成することにより、段階的に針広混交の育成複層林への誘導を図ります。

目指す森林の状態



植栽や自然落下又は飛来する種子の発芽、生育によって、複数の樹冠層を成立させ、維持していきます。



針広混交林のイメージ

★ 山をよく見、山とよく相談しながら、山に応じた森林施業を行います。

～～多様な森林への誘導事例～～

○ 主伐時の広葉樹の保残

ヒノキ人工林の主伐箇所において、広葉樹を保残し、針葉樹と広葉樹が混交する森林への誘導を行っている事例

(南木曾支署管内 南蘭国有林)



○ スギ人工林内における針広混交林化

スギ人工林内に侵入したウダイカンバ等の密度管理を行い、針広混交林への誘導を図っている事例

(富山署管内 長棟国有林)

○ 除伐時の広葉樹の保残

ヒノキ造林地の除伐で広葉樹を保残し、針広混交林への誘導を行っている事例

(岐阜署管内 本洞国有林)

